

2024 年 12 月 9 日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 阿部 貴美子

インド国デリー高速輸送システム建設事業フェーズ 4-2（第一期）  
（有償資金協力）  
環境レビューに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2024 年 11 月 11 日（月）13:59～16:59
- ・ 場所：JICA 本部（2 階 220 会議室）及びオンライン
- ・ ワーキンググループ委員：阿部委員、石田委員、奥村委員、貝増委員
- ・ 議題：インド国デリー高速輸送システム建設事業フェーズ 4-2（第一期）（有償資金協力）  
に係る環境レビューについての助言案作成
- ・ 配付資料：
  - 1) 【EIA Report】インド国デリー高速輸送システム建設事業（フェーズ 4-2）
  - 2) 【EIA Annexures】インド国デリー高速輸送システム建設事業（フェーズ 4-2）
  - 3) 【SIA Report】インド国デリー高速輸送システム建設事業（フェーズ 4-2）
  - 4) 【環境レビュー方針】インド国デリー高速輸送システム建設事業（フェーズ 4-2）
  - 5) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022 年 1 月）

全体会合（第 163 回委員会）

- ・ 日時：2024 年 12 月 9 日（月）14:00～16:38
- ・ 場所：JICA 本部（2 階 202 会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **環境配慮**

1. 水文調査の結果、地下水及び表流水に大きな影響が出る事が判明した場合には、追加的な緩和策などを改めて検討するように実施機関に申し入れること。
2. 建設に伴う樹木の伐採とその許可、移植、植林、植林地の場所の選定と樹種について、実施機関とデリー森林局のそれぞれの所轄事項を改訂版 EIA に明記すること。

### **ステークホルダー協議・情報公開**

3. ステークホルダー協議を計画実施するにあたり、より広い地域かつ多様な人々の声を聴くために、鉄道沿線の比較的狭い範囲での人達のみを協議の対象とするのではなく、効果的かつ様々な手段で広域にステークホルダー協議への参加を呼び掛け、場所や協議開催の間隔を考慮し、多様な情報収集の手段を戦略的に構築し、的確に遂行することが好ましく、上記を考慮したステークホルダー協議を次期フェーズにて計画・実施するように実施機関に提言すること。

以 上